

型番	SI-311L		
お客様	ご住所	〒 □□□ □□□□ TEL.	
	お名前	様	
保証期間	本体	お買い上げ日から 1年	お買い上げ日 年 月 日
	販売店	住所・店名	TEL. 印

販売店様へ：太ワクの中は必ず記入してお渡しください。

保証規定

- 保証期間内(お買い上げ日より1年間)に、正常なる使用状態において、万一故障した場合には無料で修理いたします。
- 修理は、お買い上げの販売店に必ず本保証書をご提示の上ご依頼ください。
- ご贈答、ご転居の際は、事前にお買い上げの販売店、電気店へご相談ください。
- 次のような場合には、保証期間内でも有料修理、もしくは修理をお断りする場合があります。
 - イ) 使用上の誤り、不当な修理や改造による故障及び損傷
 - ロ) お買い上げ後の輸送、移動、落下等による故障及び損傷
 - ハ) 火災、地震、風水害、落雷、塩害、ガス害、その他天災地変、公害及び異常電圧などによる故障及び損傷
 - ニ) 車輛、船舶等に搭載された場合に生ずる故障及び損傷

- ホ) 一般家庭用以外(例えば業務用)に使用された場合の故障及び損傷
- ヘ) 腐食による故障及び損傷
- ト) プラスチックの表面(フッ素樹脂加工も含む)及びメッキの摩耗や打痕による損傷
- チ) 本書のご提示がない場合
- リ) 本書にお買い上げ年月日、お客様名、販売店名の記入のない場合、あるいは字句を書き替えられた場合
- ヌ) 中古品、又は個人売買(オークションサイト、フリマアプリ等)で購入された商品の場合
- ⑤ 本保証書は日本国内においてのみ有効です。
This guarantee is valid only with in Japan.
- ⑥ 本保証書は再発行いたしませんので大切に保管してください。
- ⑦ 出張修理は行っておりません。

年月日	サービス内容	点検印
・ ・		
・ ・		
・ ・		

株式会社 石崎電機製作所

お客様ご相談センター

TEL: 048-931-3110

〒340-0807 埼玉県八潮市新町9

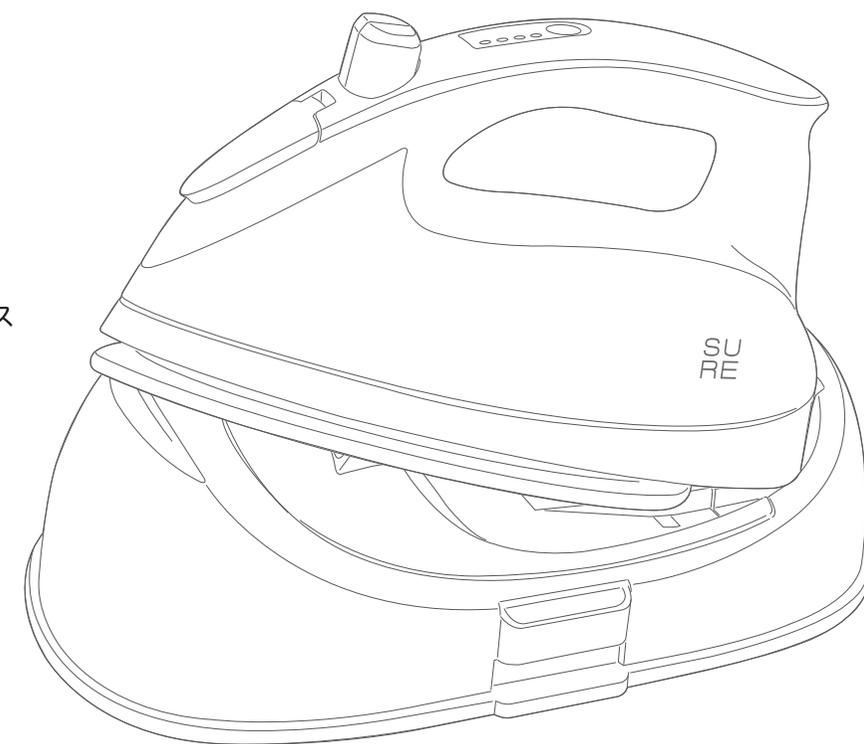
受付時間：月～金の9時～12時/13時～17時

※祝日・年末年始・夏季などの休業中を除く

コードレススチームアイロン
SI-311L
取扱説明書

このたびはコードレススチームアイロンをお買いあげいただきまして誠にありがとうございます。ご使用前にこの取扱説明書を最後まで必ずお読みのうえ、正しくお使いください。お読みになったあと、いつでも必要な時に取り出せるように所定の場所に必ず保管してください。

- 01~04 安全上のご注意
 - 05 各部の名称
 - 06 温度設定の仕方
 - 07~11 ご使用方法
 - 12 お手入れと保管
 - 13 故障かな?と思ったら
 - 14 仕様
 - 14 保証とアフターサービス
- 裏表紙 保証書



⚠ 注意

やけどに注意

アイロンのかけ面、スチームに触れない。高温によるやけどの原因になります。

スチームを人に向けて噴出しません。

スチームに触れると、やけどの原因になります。



禁止

タンク内部に若干の水 droplet が付着している場合がありますが、スチーム検査を行っているため、異常ではありません。

安全上のご注意 (その1)

ご使用前に、「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。ここに示した注意事項は、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や損害を未然に防止するためのものです。また、注意事項は危害や損害の大きさと切迫の程度を明示するために、誤った取り扱いをすると生じることが想定される内容を、「警告」「注意」の2つに区分しています。いずれも安全に関する重要な内容ですので、必ず守ってください。

表示と意味は次のとおりです。

警告

この表示を無視して間違った取り扱いをすると、使用者や近づいた方が死亡または重傷を負う可能性が想定されることを表しています。

注意

この表示を無視して間違った取り扱いをすると、使用者や近づいた方が傷害を負う可能性が想定されること、また物的損害のみの発生が想定されることを表しています。
※物的損害とは、機械、建物、家屋、家財及び家畜、ペットにかかわる拡大損害を示します。

具体的な絵表示には次の意味がありますので、十分に理解してお読みください。

 〇は、禁止(してはいけないこと)を示します。具体的な禁止内容は、図記号の中や近くに絵や文章で指示しています。上図の場合は「分解禁止」を表します。

 ●は、強制(必ずすること)を示します。具体的な強制内容は、図記号の中や近くに絵や文章で指示しています。上図の場合は「差込プラグをコンセントから抜くこと」を表します。

警告 やけど・けがを防ぐために

異常・故障時にはすぐに使用を中止し、差込プラグを抜く。

- ・電源コードが傷んでいる。(ひび割れ、中の線が見えるなど)
 - ・電源コードを動かすと通電したり、しなかったりする。
 - ・コゲくさい臭いがする。
 - ・電源コードや差込プラグが異常に熱い。
- などの症状が出たら、すぐに販売店またはお客様ご相談センターへ点検・修理を依頼してください。

お客様ご相談センター
048-931-3110



安全に責任を負う人の監視または指示がない限り、補助を必要とする人や子供だけで使わせたり、幼児の手の届くところで使わない。製品で子供が遊ばないようにする。

けが・やけど・感電の原因になります。



ショットスチームを人に向けて噴出しない。

スチームに触れると、やけどの原因になります。



警告 取り扱い・使い方

修理技術者以外の方は、絶対に分解・修理を行わない。または改造しない。
異常動作して感電・発火し、けがの原因になります。



カーテンなどの可燃物の近くで使用しない。火災の原因になります。



本体を水につけたり、水をかけたりしない。ショート・感電の原因になります。



濡れた手で温度設定ボタンの操作をしない。感電の原因になります。



警告 電源・コード

延長コードを使用しない。電源は交流100Vで定格15Aのコンセントを単独で使う。
他の機器と併用すると、発熱による火災の原因になります。



差込プラグはコンセントの奥までしっかり差し込む。
感電・ショート・発火の原因になります。



差込プラグのほこりなどは定期的に拭きとる。プラグにほこりなどがたまると、湿気などで絶縁不良となり、火災の原因になります。



差込プラグを抜くときは、電源コードを持たずに必ず先端の差込プラグをもって引き抜く。
感電・ショート・故障の原因になります。



使用時以外は、差込プラグを必ずコンセントから抜く。
けが・やけど・絶縁劣化による感電・漏電火災の原因になります。



電源コードを収納する時は、差込プラグを持って巻き取る。
差込プラグが当たって、けがの原因になります。



差込プラグにピンやごみを付着させない。感電・ショート・発火の原因になります。



電源コードに足などを引っかけない。けがや故障の原因になります。



差込プラグをなめさせない。乳児が誤ってなめないように注意する。
感電・けがの原因になります。



電源コードや差込プラグが傷んだり、コンセントの差し込みがゆるいときは使わない。
感電・ショート・発火の原因になります。



濡れた手で差込プラグを抜き差ししない。感電の原因になります。



電源コードを傷つけたり、破損したり、加工したり、無理に曲げたり、引っ張ったり、ねじったりしない。また、重たいものを載せたり挟み込んだりしない。
電源コードが破損し、感電・ショート・火災の原因になります。



△ 注意 使用場所

風呂場やシャワー室などの湿気の多い場所でアイロンかけはしない。火災・感電の原因になります。



風呂・シャワー室での使用禁止

火気(コンロ・ストーブ)の近くやほこりの多いところ、水のかかるところでは使用しない。故障や破損、ショート・発火及び感電・漏電の原因になります。



禁止

ビニールクロスなど熱に弱い敷物の上や、じゅうたん、新聞紙、ダンボールなどや畳の上では使用しない。火災の原因になります。



禁止

△ 注意 やけど・けがを防ぐために

湿った衣類(霧吹きした衣類)は、ドライでアイロンかけをする。スチームでおこなうと湯滴が出て、やけどの原因になります。



必ず行う

スチームやショットの蒸気を身体に当てない。やけどの原因になります。アイロン台によっては、スチームが透過する場合があります。



禁止

アイロンを傾けたり、前後にはげしく動かさない。やけどの原因になります。



禁止

アイロンかけ及びスチームがけ以外の目的で使用しない。過熱・異常動作による発火・やけどの原因になります。



禁止

壁や家具の近くでは使わない。熱で壁や家具を傷め、変色・変形の原因になります。また、本体の故障・変形や火災の原因になります。



禁止

不安定な場所の上では使用しない。必ず平らで安定した場所で使用し、安定した所に立てて置く。毛足の長い敷物や不安定な所に置くと、転倒して敷物の損傷、けが・やけどの原因になります。



禁止

アイロンを運ぶときは、スタンドに乗せ、十分に冷えていることを確認する。けがや、やけどの原因になります。



必ず行う

使用中・使用直後は高温部(かけ面・給電部・スタンド)に触れない。やけどの原因になります。



接触禁止

着用したままの衣類にアイロンかけ及び、ショットスチームをかけない。やけどの原因になります。



禁止

スチームの出が悪くならショットボタンを押さない。かけ面の温度が下がるとショット噴出孔から湯滴が出てやけどの原因になります。スタンドに置き給電してください。※ランプはスタンドに置いた状態の時だけ点灯・点滅します。



禁止

△ 注意 発火・火災を防ぐために

通電したまま放置しない。その場を離れる場合は、必ず差込プラグを抜く。けがややけど、絶縁劣化による感電や漏電、火災の原因になります。



禁止

熱い状態のアイロンに電源コードを巻き付けない。ショート・発火の原因になります。



禁止

アイロンの近くで可燃性ガスなどが発生するものを使用しない。火災の原因になります。



禁止

引火性のもの(ガソリン、ベンジン、シンナー)の近くで使用しない。ショート・発火の原因になります。



禁止

△ 注意 取り扱い

水は水道水を使用する。ミネラルウォーター、軟水器の水、アルカリイオン整水器の水、香料を含んだ水を使うと、水アカがたまり腐食や故障の原因になります。



必ず行う

衣類などに付いているアイロンマーク(絵表示)を必ず守る。衣類などのこげ・変質などの原因になります。(絵表示の説明は P.6 をご覧ください。)



必ず行う

落下などにより本体が破損や水漏れした場合は、使用しない。発火や感電事故の原因になります。



禁止

ご使用後は、水タンクの水を抜いて保管する。水がこぼれたり、次回のご使用時に電源を入れるとスチームや熱湯が吹き出ることがあります。



必ず行う

業務使用は行わない。一般家庭用のアイロンです。ご使用方法を理解せずに不特定多数の方や業務でご使用されることはアイロンの早期故障や重大事故につながります。



禁止

スチーム使用のときは、スプレーのりを使用しない。かけ面にのりが付着し、アイロンかけがスムーズにできなくなることがあります。



禁止

熱や湿り気に弱い壁紙の近くではスチームを使用しない。スチームによりダメージを受ける可能性があります。



禁止

スタンドの接続端子をピンや針金で触れない。感電の原因になります。



禁止

かけ面をスタンドの面に横向きに置かない。変形・傷の原因になります。



禁止

給電中に異常に発煙したり発火した場合は、すぐに温度設定ボタンを「OFF」にし、差込プラグを抜く。火災の原因になります。



必ず行う

水タンクへの注水は「max」目盛りまで。目盛り以上に入れると、使用中に水がこぼれる原因になります。



必ず行う

お手入れのときは、差込プラグをコンセントから必ず抜いて行う。感電事故の原因になります。



プラグを抜く

落としたりぶつけたりしない。感電・発火の原因になります。



禁止

ボタン・ファスナーなどの固いものにアイロンかけはしない。かけ面の傷付き・コーティングの剥れの原因になります。



禁止

市販のかけ面カバーや、スチーム噴出孔を布で覆って使用しない。故障の原因になります。



禁止

水をこぼさない。誤動作の原因になります。水がこぼれたときは、布で拭き取ってから使用してください。



水漏れ禁止

皮革製品や人工革製品、絹、着物などには使用しない。スチームにより縮む恐れがあります。



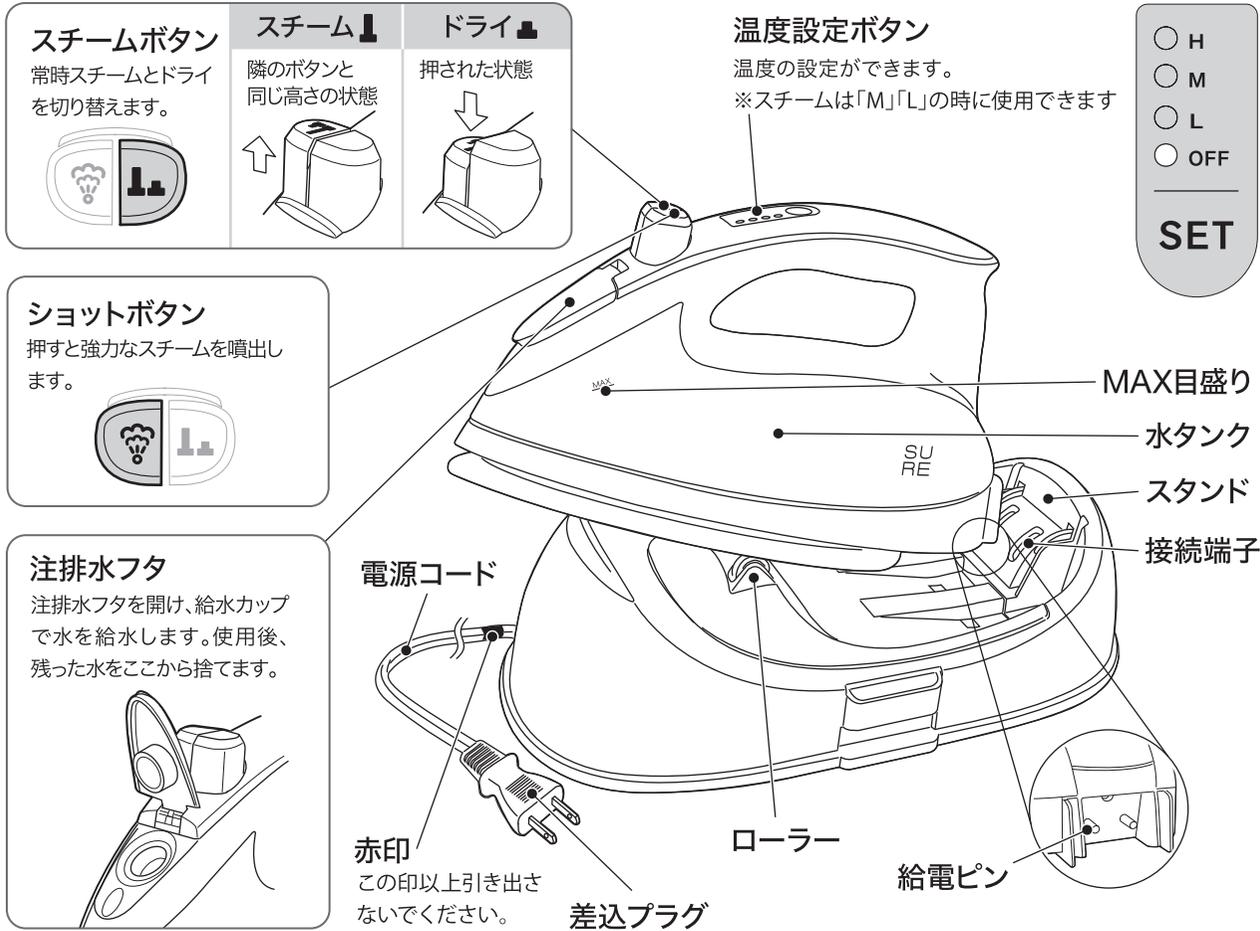
禁止

スタンドにコードを巻き付けない。ショート・発火の原因になります。



禁止

各部の名称



スチームボタン
常時スチームとドライを切り替えます。

スチーム ↓
隣のボタンと同じ高さの状態

ドライ ↑
押された状態

ショットボタン
押すと強力なスチームを噴出します。

注排水フタ
注排水フタを開け、給水カップで水を給水します。使用后、残った水をここから捨てます。

ケースの外し方
ケースの両側のフック部を押し下げたまま、カバーを持ち上げます。

付属品
給水カップ 1個
1回の給水で水タンクを満水(約200ml)にできます。

オートオフについて

●かけ面オートオフ
温度を設定した状態でスタンドに置いて何も押さずに『約15分間』待つと、自動的に電源がOFFになり、温度設定ランプが点滅します。続けて使用する場合は温度設定ボタンを押してください。
※オートオフ機能はスタンドに置いた状態の時だけ機能します。

○ H
○ M
○ L
○ OFF

SET

温度設定の仕方

温度設定の仕方

温度設定位置	L(低温)	M(中温)	H(高温)
かけ面の温度	約120℃	約160℃	約200℃
絵表示	新表示		
	旧表示		
衣類・布地の種類	アクリル シルク ポリウレタン ポリプロピレン	毛・ナイロン ポリエステル ビニロン/キュプラ レーヨン/アセテート	綿/麻 ポリノジック
スチーム	×	○	○
立ち上がり時間	約40秒	約1分	約1分20秒

絵表示の見かた

アイロンかけ禁止です。

⚠注意

おかけになる布地に日本工業規格「JIS」で定められた絵表示がある場合は、その絵表示に従い温度設定ボタンで温度設定を合わせてください。混紡の場合は、低い方の繊維温度に合わせてください。

絵表示がない場合は、おかけになる布地に合った温度設定を温度設定ボタンで合わせてください。混紡の場合は、低い方の繊維温度に合わせてください。

低温・中温および熱に弱い布地には「あて布」をするか「ためしかけ」をしてください。布地のテカリを防止するには「あて布」をしてください。

布地に合った温度設定でアイロンかけをしても、布の上で止めたり、極端にゆっくり動かしたりすると布地をいためる事がありますので注意してください。

スチーム使用のポイント

- スチームの始めに、水道水のカルキである白い粉が出る場合がありますが異常ではありません。周囲の安全を確認し、スチームをから噴出してからアイロンかけを行ってください。
- スチームアイロンとして使用するとアイロンや水タンクの外側に水滴が付着する場合がありますが、スチームが結露するため、異常ではありません。水滴が多い場合は拭き取ってください。
- スチームボタンをドライにしても、少しスチームが出ますが、これは水タンクから滴下されて残った水がスチームになって噴出されるため、故障ではありません。
- スチームへの切り替え直後はスチームが出にくいことや、不規則に出る場合がありますが、故障ではありません。
- スチーム切り替え直後にスチームが出ない場合は、アイロンを軽く振るとスチームが出やすくなります。
- 本器は、オートバルブ/水漏れ防止機能を搭載しています。下記にはご注意ください。

スタンドに戻す
かけ面の温度が下がり、スチームの出が少なくなったらスタンドに置いて給電してください。 **必ず行う**

給電する際は必ず、スチームボタンをドライにしたまま給電すると、オートバルブが解除され、スチームが噴出します。 **必ず行う** **禁止**

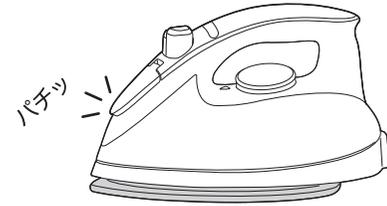
スチームアイロンとしての使い方

1 水タンクに給水する

1 スチームボタンを必ずドライ『**■**』にし、注排水フタを開き、付属の給水カップでMAX目盛り以下まで水をゆっくり入れます。



2 給水が終わったら、注排水フタを確実に閉めます。

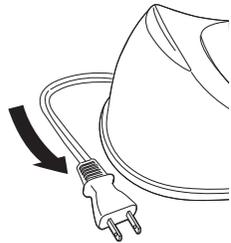


△ 注意

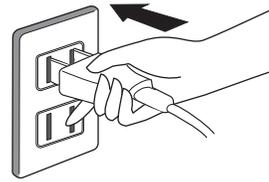
- スチームボタンは必ずドライ『**■**』にしてください。
- 水は、水道水を使用してください。次の水は入れないでください。
ミネラルウォーター、軟水器の水、アルカリイオン整水器の水、香料を含んだ水など。
- 水タンクに水を入れる際は、必ず付属の給水カップをご使用ください。
直接、水道から水を入れると水があふれ、製品内に入り感電・故障・ショートの原因になります。

2 温度設定をする

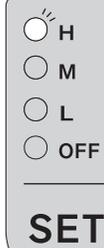
1 アイロンをスタンドにセットし、電源コードをていねいに引き出します。



2 差込プラグを正しく配線された交流100Vのコンセントに根元までしっかりと差し込みます。



3 温度設定ボタン (SET) を押して、温度を設定します。スチームを使用する場合は、「M」または「H」に設定します。

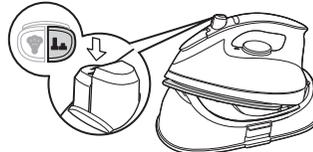


水漏れ防止

スチームボタンがドライ『**■**』にしてあることを確認してください。

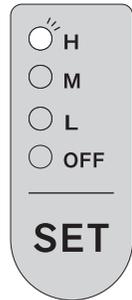


必ず行う



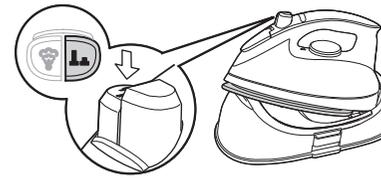
3 アイロンかけをする

1 温度設定ランプが点滅から点灯に変わってピッと音がしたら使用できます。

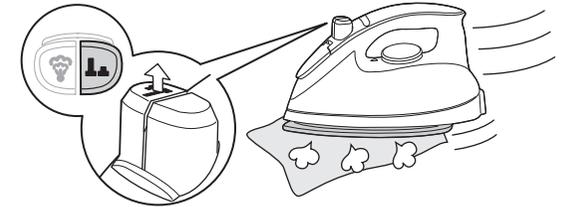


使用中のポイント

- スチームの出が悪くなったり、アイロンかけをしない時は、スチームボタンをドライ『**■**』にして、アイロンをスタンドに戻します。



2 スチームボタンを『**■**』にしてスチームを出しながらアイロンかけをします。

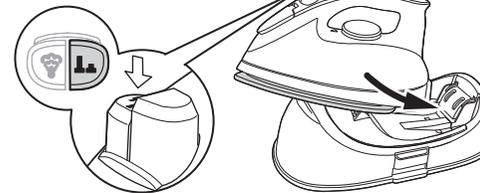


△ 注意

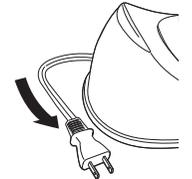
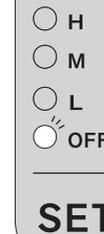
- 本器は、オートバルブ/水漏れ防止機能を搭載しています。かけ面の温度が下がると、自動的にスチームが止まります。オートバルブは温度が上がると解除されますので、スタンドに戻すときは必ずスチームボタンをドライ『**■**』にしてください。
- スチームが出にくいときは、スチームボタンを数回押してください。

4 使用後

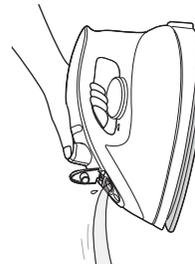
1 スチームボタンをドライ『**■**』にしてスチームを止めてからスタンドにアイロンを戻します。



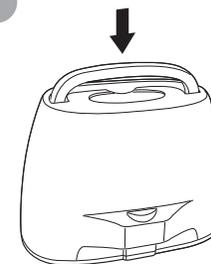
2 温度設定をOFFにして、差込プラグをコンセントから抜き、ゆっくり巻き取ります。



3 かけ面が冷えたら、水タンク内の水を捨てます。



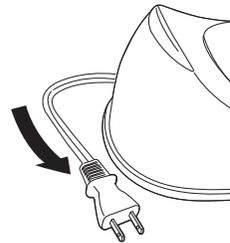
4 ケースを上からカチッと音がするまで押し下げます。



ドライアイロンとしての使い方

1 温度設定をする

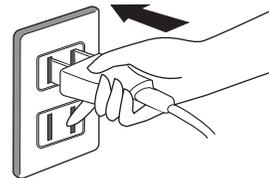
1



アイロンをスタンドにセットし、電源コードをていねいに引き出します。

2

差込プラグを正しく配線された交流100Vのコンセントに根元までしっかりと差し込みます。



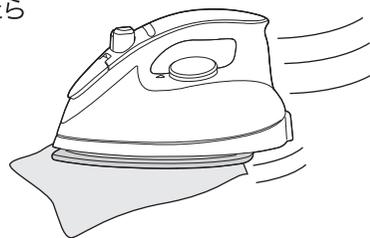
3



温度設定ボタン (SET) を押して、温度を設定します。

2 アイロンかけをする

温度設定ランプが点滅から点灯に変わってピッと音がしたら使用できます。

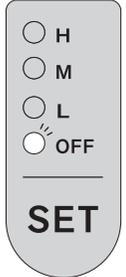


△ 注意

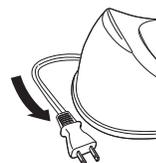
- スチームボタンをドライにしても、スチームが出る場合は、スチームが出なくなるまで待ってから、アイロンかけをしてください。
- ドライで使用する場合は、水タンクに水が入っていないことを確認してからコンセントに差し込んでください。
- ショットボタンを押さないでください。
- アイロンかけをしない時は、アイロンをスタンドに戻します。温度設定ランプが点滅したら、点灯するまでお待ちください。

3 使用後

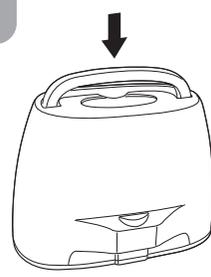
1



温度設定をOFFにして、差込プラグをコンセントから抜き、ゆっくり巻き取ります。



2

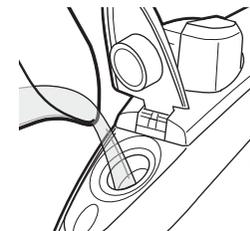


ケースを上からカチッと音がするまで押し下げます。

衣類スチーマーとしての使い方

1 水タンクに給水する

スチームボタンを必ずドライ『』にし、注排水フタを開き、付属の給水カップでMAX目盛り以下まで水をゆっくり入れます。

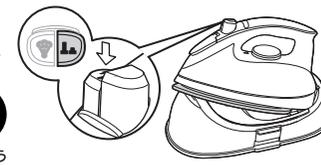


水漏れ防止

スチームがドライ『』にしてあることを確認してください。



必ず行う



2 温度設定をする

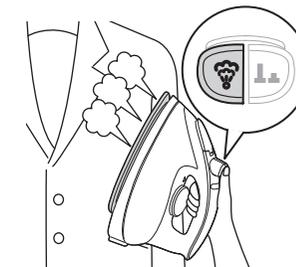


温度設定ボタンを押して、温度を設定「M」または「H」に設定します。

3 スチーマーかけをする

温度設定ランプが点滅から点灯に変わってピッと音がしたら使用できます。ショットボタンを押すとショットスチームが出ます。

- ※使用中にスチームの出が悪くったらスタンドに戻し、点灯するまでお待ちください。
- ※3秒以上に1回のペースでショットスチームを出してください。



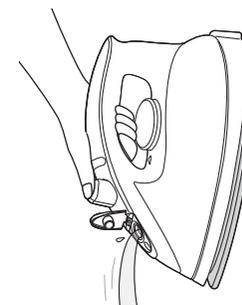
△ 注意

- 皮革製品や人工革製品、絹、着物などには使用しないでください。

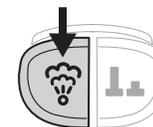
4 使用後

P.8の4 使用後を参照し、使用後の処理を行ってください。

- ※腐食防止のために、水タンク内の水は必ず捨ててください。



2通りの使い方ができます



ショットスチームはハンガーにかけた衣類への垂直使用も、通常の水平使用でも使用できます。

パワーショット
アイロンを垂直に

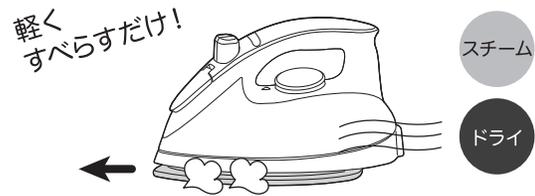


スタンディングショット
アイロンを水平に

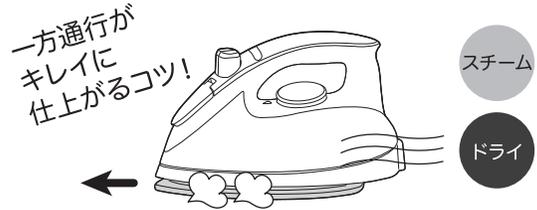


アイロンの上手な使い方

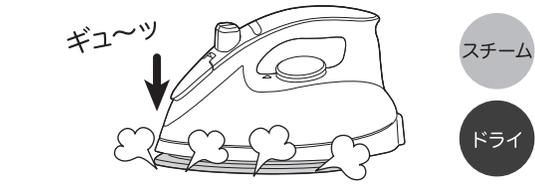
必要以上の力をかけないで、衣類の上をすべらすように軽くかけるだけで十分です。



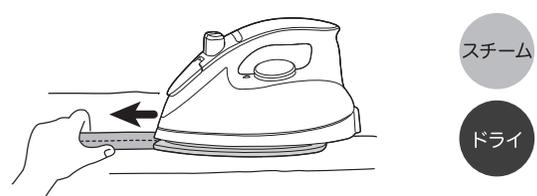
アイロンを往復させたりすると余分なシワができます。一定方向に動かしましょう。



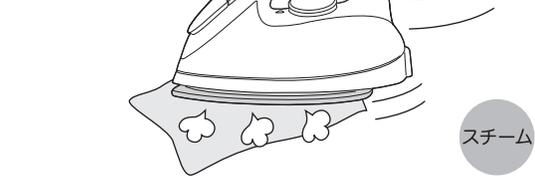
とくに折り目ははっきりつけたい所やガンコなシワの部分はしっかり押さえます。



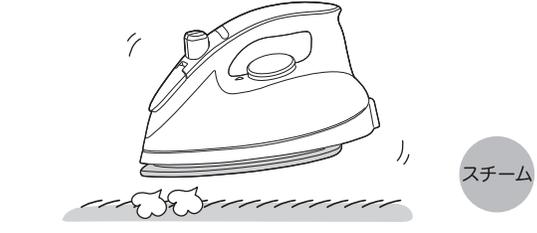
衣類の縫い目に合わせ、縫い目を引っ張り気味にかけるのがポイントです。



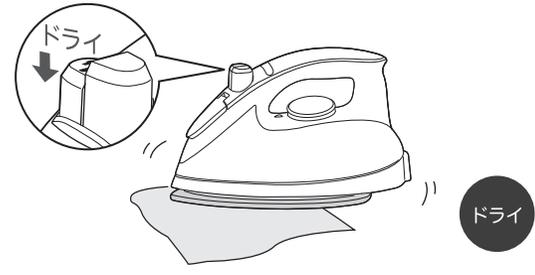
適度な温度と湿り気でサッと仕上げるのがコツです。



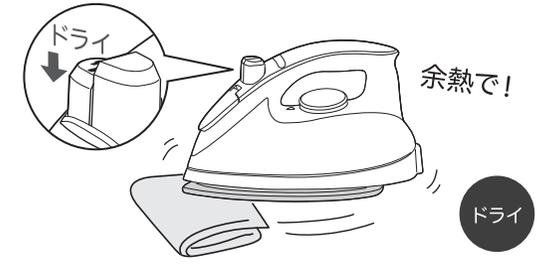
ウールやセーターのような毛足の長い繊維には「浮かしかけ」をしてスチームを当てます。



アイロンかけは、ドライで低温の布地から。繊維をいためる恐れもなく、早くできます。



ハンカチなどの小さいものは、電源を切ったあとの余熱を、ドライで利用ください。



警告 お手入れの際は必ず差込プラグをコンセントから抜く。必ずかけ面が十分に冷めてから行う。ご使用後、手をかざし熱さを感じた時は、冷めるまでお手入れを行わない。やけどの原因になります。

注意

お手入れの際は必ず差込プラグをコンセントから抜く。濡れた手で抜き差しをしない。ショート・感電やけがの原因になります。



本体を水につけたり、水をかけたり、丸洗いをしない。ショート・感電の原因になります。



ご使用ごとに、やわらかい布か、濡れた布で拭き、最後から拭きしてください。



金属製のとわしやナイロンたわし、シンナー、ベンジン、化学ぞうきん、アルカリ性洗剤、磨き粉などは使用しない。傷や表面加工が剥がれる原因になります。

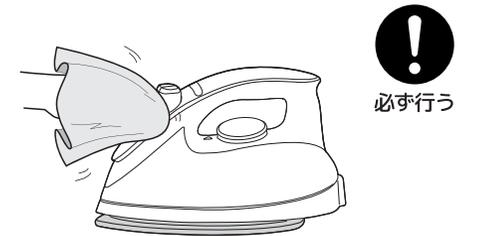


本体のお手入れ

本体・かけ面の汚れは、やわらかい布などで拭いてください。かけ面の落ちにくい汚れは、中性洗剤か水をふくませた布で拭き取り、最後から拭きをしてください。

スチーム噴出孔のつまりは、つま楊枝などで取り除いてください。目安は3、4ヶ月に1回です。

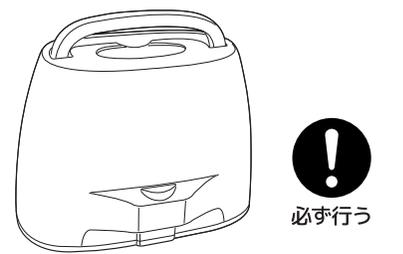
給電ピンの汚れは、乾いた布でふいてください。給電ピン、接続端子は、紙やすりなどで磨かないでください。



保管

※保管する前に、必ずお手入れを行い、十分に乾燥させてください。

- ・温度は必ず『OFF』にしてください。
- ・スチームボタンは必ずドライ『■』にしてください。
- ・保管の際は、必ずケースを取り付けて下さい。
- ・湿気の少ないところに保管してください。
- ・保管時は上に物を乗せたりしないでください。
- ・電源コードを収納する際は、必ずかけ面が冷めたことを確認してから行ってください。



故障かな?と思ったら

次のようなときは、故障ではない場合がありますので、表を見ながらもう一度お調べください。

調べる ところ	原因・処置										
	熱くならない	かけ面が スチームが 出ない	少ない スチーム量	スチーム噴出 から水が漏れる	シヨットが 出ない	少ない シヨット量	スチーム噴出 のつまり、 かけ面の腐食	かけ面が滑らない	布地が こげたり、 縮む	白い粉が 出たり、 ニオイが する	スチーム噴出 時に
スタンドへの セット	●										アイロンを正しくスタンドにセットしていますか? 処置 アイロンを確実にセットし直してください。
給電ピン	●										給電ピンが汚れていませんか? 処置 P.12 の「本体のお手入れ」を参照して清掃してください。
差込プラグ	●	●			●						差込プラグはコンセントにきちんと差し込まれていますか? 処置 差込プラグをコンセントに確実に差し込み直してください。
温度設定 ボタン	●		●	●				●			適切な温度設定がされていますか。 処置 温度設定表示を再度確認してください。
	●										使用中にアイロンをスタンドにセットして長時間放置すると温度設定ランプが点滅に変わります。 処置 続けて使用する場合は温度設定ボタンを押してください。
			●	●							温度設定表示が高温「H」になっていますか。 処置 温度設定表示位置を再度確認してください。
スチーム ボタン		●									スチームボタンがドライ「■」になっていませんか? 処置 スチームボタンを押し上げてスチーム「■」にセットしてください。 処置 アイロンを水平にしてスチームボタンをドライ「■」とスチーム「■」に数回交互に切り替え後、再度スチーム「■」にセットしてください。
シヨット ボタン					●	●					温度設定ボタンが「M」「H」になっていますか? 処置 ①設定の位置を再度確認してください。 ②温度設定ランプ点灯後、シヨットボタンを数回押してください。
スチーム/ シヨット 噴出孔		●	●	●	●	●	●				スチーム/シヨット噴出孔のお手入れをされていますか? 処置 P.12 の「本体のお手入れ」を参照して清掃してください。
使用後の 排水										●	前回ご使用の水が水タンクに残っていませんか? 処置 使用後は必ず水を捨ててください。
かけ面								●			かけ面に何か付着していませんか? 処置 P.12 の「本体のお手入れ」を参照して清掃してください。
										●	水に含まれる鉱物質などが出るもので、異常ではありません。白い粉が衣類についた場合、払うと取れます。
繊維製品の 絵表示								●			布地にあった温度設定になっていますか? 処置 P.6 の「温度設定の仕方」を参照して適温に合わせ直さず、あて布をしてください。

※以上の事をお調べいただき、それでも直らない場合は、ご自分で修理なさらず、お買い上げの販売店までお問い合わせください。

詳しくは、P.14「保証とアフターサービス」をご参照ください。

仕様

定 格	100V-1170W 50/60Hz	蒸気発生方法	滴下式
寸 法	アイロン:長さ232×幅111×高さ132mm	電 源 コ ー ド	約1.5m コードリール付き
	収納時:長さ281×幅178×高さ203mm	温度過昇防止装置	温度ヒューズ 240°C
質 量	アイロン:約0.9kg	温度設定範囲	L(低温):約120°C
	収納時:約2.0kg		M(中温):約160°C
かけ面の面積	約155cm ²	H(高温):約200°C	
水タンク容量	約200ml	付 属 品	給水カップ(約200ml)

保証とアフターサービス

■修理・お取扱い・お手入れなどのご相談

お買い上げの販売店、またはお客様ご相談センターにお申し付けください。

■修理を依頼される時

使用中に異常が生じた場合は、必ず差込プラグをコンセントより抜いてお買い上げの販売店または、お客様ご相談センターにお問い合わせください。

●保証書(裏表紙)

必ず「お買い上げ日、販売店」の記入をご確認の上、お買い上げ販売店から受け取り、内容をよくお読みの上、大切に保管してください。

●保証期間中は

保証書の規定に従って、お買い上げ販売店またはお客様ご相談センターに修理を依頼してください。製品に保証書を添えてご持参ください。

●保証期間が過ぎているときは

修理すれば使用できる製品については、ご希望により有料で修理させていただきます。ただし、補修用性能部品の最低保有期間は、製造打ち切り後5年です。

注)性能部品とは、その製品の性能を維持するために必要な部品です。

●保証期間:お買い上げ日から1年間

詳しくは裏表紙の保証規定をご確認ください。

お客様ご相談センター	〒340-0807 埼玉県八潮市新町9
TEL: 048-931-3110	受付時間:月～金の9時～12時/13時～17時 ※祝日・年末年始・夏季などの休業中を除く

長年ご愛用のコードレススチームアイロンの点検を!このような症状はありませんか?



- 差込プラグやコードが異常に熱い。
- コゲくさい臭いがする。
- 電源コードを動かすと通電したり、しなかったりする。
- 本体に触れるとビリビリと電気を感じる。
- その他の異常、故障がある。

このようなときは、ご使用中を中止してください。事故防止のため、必ず販売店に点検修理をご相談ください。

株式会社 石崎電機製作所

本社

〒111-0051

東京都台東区蔵前3-5-15

東日本営業所

〒111-0051

東京都台東区蔵前3-5-15

TEL.03-5687-7031

西日本営業所

〒550-0013

大阪市西区新町1-25-7

TEL.06-6541-3893

公式ホームページ



www.sure-ishizaki.co.jp